

# 平成30年度事業計画

## <基本方針>

本会は、県内におけるスポーツ活動を総合的に推進する民間組織として、二大目標である「県民スポーツの振興」と「競技力の向上」に向けて、県や市町村、関係機関・団体等との連携を図り、県民の生涯にわたるスポーツライフを推進するため諸事業を積極的に展開するとともに、県民に信頼される組織づくりに努める。

## 1 スポーツ振興事業

### (1) 国民体育大会等派遣事業

福井県において開催される第73回国民体育大会本大会及び北海道において開催される第74回国民体育大会冬季大会並びに宮城県において開催される平成30年度国民体育大会東北ブロック大会兼第45回東北総合体育大会へ本県代表選手・監督並びに本部役員を派遣する。

### (2) 競技力向上事業

本県における各種競技力向上事業の実施主体として、青森県競技力向上対策本部をはじめ、関係機関・団体との連携を積極的に図りながら、効果的に事業を推進する。

選手強化事業の推進にあたっては、国民体育大会における天皇杯得点獲得可能競技にポイントを置いた強化を進める。

また、各競技団体の指導体制の充実や指導者・強化スタッフの資質向上を目的として、前年度まで実施した「コーチスキルアップ事業」をリニューアルし、将来の活躍が見込まれる有望指導者を中央競技団体等が主催する各種研修会に派遣する「有望指導者研修派遣事業」、優秀な外部コーチ・指導者を招聘して研修会を開催する「トップレベルコーチ招聘事業」、国体監督としての参加に必要である日体協公認スポーツ指導者資格の取得を促進する「公認指導者（コーチ）資格の取得支援事業」に取り組む。

### (3) スポーツ指導者育成事業

加盟競技団体及び関係団体との連携を図りながら、公益財団法人日本体育協会公認指導者の養成・研修を積極的に進めるとともに、国民体育大会において導入されているドーピング検査に対応するため、アンチ・ドーピングに関する研修会を実施する。

### (4) スポーツ科学センター管理運営事業

青森県スポーツ科学センターが提供しているフィジカル面の各種測定、フォーム撮影などによる動作分析、心理面のサポート、スポーツ障害予防などのリコンディショニングのサービスについて、より一層県内のアスリートの需要に応えることができるよう、管理・運営の工夫に努める。

また、本県選手の競技力の向上をスポーツ科学的な側面から支援するため、各種競技力向上事業との連携を図りつつ、県内の高等学校の運動部に対し、科学センター職員の専門的な分野での能力を活用したチームサポート事業を継続する。

更に、県が実施するジュニア選手育成支援事業の一環として、青森県スポーツ科学センターを活用し、県内の優れた運動能力を有するジュニア選手の発掘及び育成プログラムの実施を県と連携を図りながら行う。

#### (5) 県民体育大会開催事業

県民の生涯にわたるスポーツ活動を推進し、併せて、市町村間の親善・交流を図るため、第73回市町村対抗青森県民体育大会を三八地域において開催するとともに、同大会のより充実した運営に努める。

#### (6) 国際交流事業

日本と中国・韓国・ロシア間の友好と親善を深めるとともに、各国のスポーツの振興を図ることを目的として交流事業を実施する。

#### (7) 総合型地域スポーツクラブ育成事業

スポーツを核とした地域コミュニティの再生・活性化や地域の絆づくりなど豊かな地域社会の構築に向け、地域住民が主体となって地域スポーツの推進を図る総合型地域スポーツクラブの育成・支援を行う。

#### (8) スポーツ安全協会運営受託事業

スポーツ安全協会青森県支部の業務を円滑に進める。また、県民の生涯にわたるスポーツ活動の推進に寄与することを目的に、スポーツ活動における安全の確保に関する事業並びにスポーツ活動等に伴い生じる傷害に対処するための事業を実施する。

#### (9) 青森県体育協会表彰事業

各種大会において優秀な成績を収め、本県の競技力向上に貢献した選手やその指導者等を表彰する。

#### (10) 八戸自転車競技場管理運営事業

本県自転車競技の振興と競技力向上を図るとともに、一般県民の体力向上と健康増進を目的とし、八戸自転車競技場を管理運営する。

## 2 青少年スポーツ育成事業

### (1) 青少年スポーツ大会派遣事業

スポーツ少年団活動をより一層促進し、地域における団活動の活発化を図るため「全国スポーツ少年大会」、「全国競技別交流大会」、「東北ブロックスポーツ少年大会」、「東北ブロック競技別交流大会」へ本県団員及び指導者を派遣する。

## (2) 青少年スポーツ交流大会事業

スポーツ少年団員にスポーツの喜びを経験する機会と、より伸びるための研修の場を提供するとともに、地域における少年団活動の一層の促進を目的として、関係競技団体等との協力により、各種交流大会を開催する。

## (3) 青少年スポーツ指導者育成事業

青少年スポーツ指導者の資質向上を図るとともに、望ましい指導体制を確立するため、「スポーツ少年団認定員養成講習会」を開催するとともに、「同認定育成員研修会」や「同指導者全国研究大会」等へ本県指導者を派遣する。

また、単位団や地域におけるリーダーの養成を目的とした「ジュニア・リーダースクール」を開催するとともに、北海道・東北各県のリーダー会組織の充実や活動の活発化を目指した「北海道・東北ブロックリーダー研究大会」等へ本県リーダーを派遣する。

## (4) 国際交流事業

日独両国間の友好と親善を深めるとともに、両国の青少年スポーツの発展に寄与することを目的として、スポーツ少年団とドイツスポーツユースとの間で行われる相互交流事業に参加する。

## (5) スポーツ少年団活動助成事業

市町村スポーツ少年団において、活動の促進や組織の充実を目的として行われる各種事業に対して助成を行う。

## (6) スポーツ少年団表彰事業

当該年度の日本スポーツ少年団顕彰の伝達並びに県スポーツ少年団の発展に貢献のあった指導者・単位団を対象とした表彰を行う。

# 3 青少年スポーツセンター管理運営事業

## (1) 岩木青少年スポーツセンター管理運営事業

自然体験やスポーツ活動などを通じて青少年の健全育成を図るため、体験活動プログラムの充実とともに、学習合宿の誘致を図るなど、利用促進に向けた取り組みを積極的に進める。

また、各種スポーツ大会及びサッカーやラグビーを中心としたスポーツ合宿を誘致するなど、施設の有効活用と地域の活性化を図る。

## (2) ジュニアクロスカントリースキー競技大会開催事業

本県クロスカントリースキー競技の普及・振興とジュニア選手の育成及び競技力向上を図ることを目的として、スキーシーズンの最初と締めくくりに、クロスカントリースキー競技大会を開催する。

#### 4 青少年スポーツセンター収益事業

岩木青少年スポーツセンター内に、自動販売機・コインランドリーを設置するとともに、入浴施設の提供等を行い施設利用者の利便性の向上を図る。

#### 5 青森県体育協会創設100周年記念事業

平成32年（2020年）に本会が創設100周年を迎えることから、記念事業の実施に向け、同事業の内容や取り組みについて検討し、準備を進める。

平成30年度事業計画一覧

1 スポーツ振興事業

事業名	開催期日	開催場所	内容
1 国民体育大会等派遣事業			
(1)国民体育大会選手派遣・派遣費補助事業			
①第73回国民体育大会本大会	9月29日～ 10月9日	福井県下	正式競技37競技 先行開催競技/水泳、バレーボール、ハンドボール、丸射撃 競泳・飛込 9月15日～9月17日 水球 9月11日～9月13日 シンクロナイズドスイミング 9月10日 オープンウォータースイミング 9月12日 ビーチバレーボール 9月9日～9月11日 ハンドボール 9月13日～9月17日 クレール射撃 9月13日～9月17日
②第74回国民体育大会冬季大会			
1)スケート・アイスホッケー競技会	1月30日～ 2月3日	北海道 釧路市	スピード 1月31日～2月3日 フィギュア 1月30日～2月2日 ショートトラック 2月2日～2月3日 アイスホッケー 1月30日～2月3日
2)スキー競技会	2月14日～17日	北海道 札幌市	
(2)平成30年度国民体育大会東北ブロック大会兼 第45回東北総合体育大会選手派遣・派遣費補助事業	主会期 8月24日～26日	宮城県下	正式競技(37競技) うち国民体育大会の正式競技(37競技)
			上記(1)、(2)の大会に青森県代表選手、同監督並びに本部役員(スポーツドクター・トレーナーを含む)を派遣する。 (交通費、宿泊費、服装費及び一部競技の運搬費補助)
2 競技力向上事業			
(1)総合選手強化対策事業	通年	県内外	本県競技力の向上を目的として、国体正式競技に該当する競技団体が県内外において強化合宿等を実施する。
(2)中学生強化事業	通年	県内外	本県競技力の向上を目的として、県中体連各専門部並びに関係競技団体が県内外において強化合宿等を実施する。
(3)高校生強化事業	通年	県内外	本県競技力の向上を目的として、県高体連各専門部、強化指定高校並びに関係競技団体が県内外において強化合宿等を実施する。
(4)有望指導者研修派遣事業	通年	東京都他	将来競技団体の中心となって活躍することが見込まれる有望指導者を中央競技団体等が主催する各種研修会に派遣する。
(5)トップレベルコーチ招聘事業	通年	県内外	中央競技団体等の優秀なコーチ・指導者を招聘し、各競技団体の指導者や強化スタッフに高度な技術や戦略等を習得させることを目的とした強化事業を実施する。
(6)公認指導者(コーチ)資格の取得支援事業	通年	東京都他	国体監督として参加するために保有が義務付けられている日体協公認スポーツ指導者資格の取得を促進するために、資格取得に係る受講料の一部を補助する。
3 スポーツ指導者育成事業			
(1)日体協公認スポーツ指導者養成事業			
①指導員養成講習会開催事業	通年	県内	日体協公認指導員の養成講習会を開催する。 指導員：バレーボール、バドミントン 上級指導員：ソフトボール (青森県スポーツ指導者協議会との共催事業)
②青森県スポーツ指導者研修会開催事業	調整中	県内	日体協公認指導者の資質向上、活動促進等を図ることを目的とした研修会を開催する。 ※日体協公認スポーツ指導員の資格更新のための義務研修 (青森県スポーツ指導者協議会との共催事業)
③スポーツドクター養成講習会 受講者派遣事業	通年	東京都他	日体協が実施するスポーツドクター養成講習会に受講者を派遣する。 (青森県スポーツドクターの会との共催事業)
④アスレティックトレーナー養成講習会 受講者派遣事業	通年	東京都他	日体協が実施するアスレティックトレーナー養成講習会に受講者を派遣する。 (青森県スポーツドクターの会との共催事業)
(2)国体選手を中心とした アンチ・ドーピング研修会開催事業	調整中	県内	国民体育大会等において導入されているドーピング検査に対応するため、アンチ・ドーピングに関する研修会を実施する。

事業名	開催期日	開催場所	内容
4 スポーツ科学センター管理運営事業			
(1) アスリートプログラムサービス	通年	県スポーツ科学センター他	県内外のスポーツ競技者並びに一般県民を対象とした各種運動能力等の測定・検査とその結果に基づいた情報提供を行う。
(2) チームサポート事業	通年	県内外	県内の高等学校の運動部に対し、スポーツ科学の専門家による、年間を通じたサポートを実施する。
(3) 運営懇談会開催事業	年2回	県スポーツ科学センター	青森県スポーツ科学センターの運営方法や事業内容等の推進体制について協議し、同センターの円滑な管理・運営を図る。
(4) あおもりスポーツアカデミー事業	調整中	青森市 八戸市 弘前市	青森県スポーツ科学センターを活用し、県内の優れた運動能力を有するジュニア選手を発掘するとともに、スポーツ科学を活用した育成プログラムを県と連携を図りながら実施する。
5 県民体育大会開催事業			
(1) 第73回市町村対抗青森県民体育大会開催事業	主会期 7月28日～29日	三八地域	県民の生涯にわたるスポーツ活動を推進し、県民の体力向上と市町村の親善・交流を図ることを目的として、県民体育大会を開催する。  実施競技：市の部 19競技、オープン競技 1競技 町村の部 17競技、オープン競技 1競技 地域予選実施競技：軟式野球、バレーボール、ソフトボール、バスケットボール、サッカー
6 国際交流事業	調整中	県内	日本体育協会の委託事業として、小学生から一般までの混合チームを韓国・中国・ロシアへ派遣及び受入を行い、各競技の合同練習や交流試合等の交流を実施する。
7 総合型地域スポーツクラブ育成事業	通年	県内	県内総合型クラブの組織化・定着化を推進するため、関係団体との連携を図りながら、総合型クラブの創設及び活動、事務・経理処理等の運営全般に渡る指導・助言を行う。
8 スポーツ安全協会運営受託事業			
(1) スポーツ安全保険支部運営業務	通年	県内	スポーツ活動等に伴い生じる傷害に対処するためのスポーツ傷害団体保険契約の締結及びそれに伴う必要な業務を実施する。
(2) スポーツ安全指導・事故防止セミナー	11月	八戸市	県民の生涯にわたるスポーツ活動の推進に寄与することを目的に、スポーツ活動に係るリスクを防止する研修会を実施する。
9 青森県体育協会表彰事業	1月19日	青森市	平成30年中に各種大会において優秀な成績を収め、本県の競技力向上に貢献した選手やその指導者等を表彰する。
10 八戸自転車競技場管理運営事業	通年	八戸自転車競技場	本県自転車競技の振興と競技力向上を図るとともに、一般県民の体力向上と健康増進を目的とし、管理運営を行う。

## 2 青少年スポーツ育成事業

事業名	開催期日	開催場所	内容
1 青少年スポーツ大会派遣事業			
(1) 第56回全国スポーツ少年大会派遣事業	8月2日～5日	茨城県 (行方市)	スポーツ少年団活動をより一層促進し、地域における団活動の活発化を図るため、本県より団員（中1～高3）及び指導者を派遣する。 会場：茨城県立白浜少年自然の家ほか
(2) 全国競技別交流大会派遣事業			
① 第40回軟式野球交流大会	7月28日～31日	長崎県 (長崎市)	東北Iブロック代表決定大会通過の1団を派遣する。 会場：長崎県営野球場ほか
② 第41回剣道交流大会	3月27日～29日	山口県 (山口市)	県予選通過の1団（小学生団体）、男女各1名（中学生個人）を派遣する。 会場：維新百年記念公園
③ 第16回バレーボール交流大会	3月28日～31日	大分県 (別府市)	県予選通過の女子1団（小学生）を派遣する。 会場：べっぴんアリーナほか
(3) 第49回東北スポーツ少年大会派遣事業	調整中	青森県 (調整中)	スポーツ少年団の交流活動を推進するとともに、地域における団活動の活発化を図るため、本県の中・高校生の団員及び指導者を派遣する。 会場：調整中

事業名	開催期日	開催場所	内容
(4)東北ブロック競技別交流大会派遣事業			
①第40回軟式野球交流大会 兼 東北Iブロック代表決定大会	7月7日	秋田県 (鹿角市)	県予選通過の1団を派遣する。 会場：城山野球場
②第47回サッカー交流大会	7月14日～16日	山形県 (天童市)	全日本少年サッカー大会青森県大会(県予選)通過の2団(1位～2位)を派遣する。 会場：山形県総合運動公園
③第38回ミニバスケットボール交歓大会	3月9日～10日	青森県 (中南地区)	県予選通過の男女各3団(2位～3位)を派遣する。 会場：青森県立武道館ほか
④第38回柔道交流大会	12月1日～2日	宮城県 (仙台市)	県予選通過の小学生の部・中学生の部の男女各1団を派遣する。 会場：宮城県武道館
2 青少年スポーツ交流大会事業			
(1)競技会開催事業			
①第40回陸上競技会	調整中	鱒ヶ沢町	各競技会を通して団員の連帯感を深め、スポーツ少年団活動の活性化を図る。
②第43回軟式野球競技会	6月23日～24日	青森市	
③第43回ミニバスケットボール競技会	12月22日～23日	十和田市	
④第30回ソフトボール競技会	調整中	東北町	
⑤第40回ラグビーフットボール競技会	7月8日	八戸市	
⑥第43回剣道競技会	9月30日	むつ市	
⑦第43回柔道競技会	9月9日	五戸町	
⑧第40回スケート競技会	1月9日	八戸市	
⑨第43回卓球競技会	11月25日	平内町	
⑩第16回バレーボール競技会	12月24日	青森市	
(2)第52回県フェスティバル開催事業 (青森県スポーツ少年大会)	8月9日～11日	大鰐町	集団活動、スポーツ活動等を通し、団員相互の親睦と個々の資質向上を図る。(期間：2泊3日)
3 青少年スポーツ指導者育成事業			
(1)認定育成員研修会(北海道・東北ブロック)	10月13日	北海道 (札幌市)	認定育成員の資格更新研修会。(認定期間：4年)
	11月17日	宮城県 (仙台市)	
(2)認定員養成講習会 兼 スポーツリーダー養成講習会	6月16日～17日	弘前市	当該年度の登録指導者及び次年度に登録が見込まれる者を対象とした認定員資格取得講習会を開催する。
	8月25日～26日	八戸市	
	10月20日～21日	青森市	
(3)市町村事務担当者会議	4月13日	青森市	各市町村における事務手続き等の円滑化と、指導者の資質向上を図るための会議を開催する。
(4)全国指導者協議会	6月15日～16日	東京都	県指導者協議会運営委員長を派遣する。
(5)東北ブロック指導者研究協議会	11月8日～9日	岩手県 (盛岡市)	東北各県の指導者協議会代表及び関係者が一同に会し、全国共通のテーマによる協議を行い相互理解を深める。
(6)県指導者協議会	4月～2月	青森市	指導者協議会の設置意義・役割等について協議・検討する。
(7)日本スポーツ少年団 シニアリーダーズスクール	8月9日～13日	静岡県 (御殿場市)	市町村におけるスポ少リーダーの資質向上と将来におけるスポ少指導者の養成を目的とし、「日本スポ少リーダー制度」に基づいて日体協が実施する研修会にリーダー等を派遣する。

事業名	開催期日	開催場所	内容
(8)全国スポーツ少年団リーダー連絡会 *6/17(日)は、ジュニアスポーツフォーラムへの参加	6月16日～6月17日	東京都	全国都道府県スポ少リーダーの相互研修を通し、各県リーダー会の充実・強化並びにリーダー会の設置を促進するため、研修会にリーダー等を派遣する。
(9)第22回北海道・東北ブロック スポーツ少年団リーダー研究大会	10月6日～8日	北海道 (森町)	北海道・東北のリーダーが一堂に会し、相互の親睦を図るとともに、今後の組織充実と活動の活性化並びにリーダーの資質向上のため、研究大会にリーダー等を派遣する。 会場：青少年体験活動支援施設ネイパル森
(10)県ジュニア・リーダースクール	10月6日～8日	弘前市	団活動2年以上の小学5年生から中学生までの団員を対象とした、日本スポーツ少年団ジュニア・リーダー資格取得のための研修会を開催する。 会場：岩木青少年スポーツセンター(予定)
(11)県リーダー会	4月～3月	青森市ほか	リーダー会の設置意義・役割等について協議・検討する。
(12)東北6県体育関係代表者会議 スポーツ少年団部会	5月10日	岩手県 (盛岡市)	東北6県の体育・スポーツ少年団に関する事項の連絡調整を図るとともに、当面する課題について協議し、体育・スポーツの振興を期する。 対象：各県本部長、各県事務担当者
(13)東北ブロックスポーツ少年団連絡協議会	12月12日～13日	山形県 (鶴岡市)	東北各県スポーツ少年団の組織の充実とブロック内の連携を深め、次年度の事業等について対応するために開催する。 対象：各県本部長、各県事務担当者
(14)日本スポーツ少年団 北海道・東北ブロック会議 (※北海道・東北6県の輪番制会議)	1月31日～2月1日	岩手県 (盛岡市)	北海道・東北各県スポーツ少年団の組織の充実とブロック内の連携を深め、次年度の事業等について対応するため、県本部長・県指導者協議会代表者・県事務担当者等が参加する。
4 国際交流事業			
第45回日独同時交流事業			
(1)派遣 派遣団集合(結団式)：7月30日	7月31日～ 8月17日	ドイツ	ドイツ連邦児童青少年計画の基準及び日本スポ少育成計画に基づいた両国の文化・経済・社会等の分野における学習を目的とし、両国の友好と親善を深め、国際的視野を持つ青少年を育成するために相互交流を行う。 派遣：東北Iブロック(青森・秋田・岩手)として団員、指導者をドイツに派遣する。 受入：東北Iブロック(青森・秋田・岩手)の3県で各県内の市町村輪番でドイツ団を受け入れ、地元スポーツ少年団等と交流を行う。
(2)受入 (全体受入日程：7月24日～8月9日) 受入地：秋田県(大館市)⇒岩手県(山田町) ⇒青森県(板柳町)	8月3日～ 8月7日	板柳町	
5 スポーツ少年団活動助成事業			
(1)体力テスト会助成事業	4月～2月	県内各地	登録団員の体力測定を実施する市町村スポーツ少年団へ事業費を助成する。
(2)各種研修会助成事業	4月～2月	県内各地	各種研修会を実施する市町村スポーツ少年団へ事業費を助成する。
(3)各種交流事業助成事業	4月～2月	県内各地	各種交流事業(野外活動・レクリエーション等)を実施する市町村スポーツ少年団へ事業費を助成する。
(4)指導者協議会設置促進事業	4月～2月	県内各地	登録指導者が所属の市町村スポーツ少年団において、相互連帯や資質・指導力の向上等を目的として新たに指導者協議会を設置する市町村スポーツ少年団へ事業費を助成する。
6 スポーツ少年団表彰事業			
(1)県スポーツ少年団表彰	1月中旬	青森市	当該年度の日本スポーツ少年団顕彰の伝達並びに県スポーツ少年団の発展に貢献のあった指導者・単位団への表彰を行う。 (県体協各賞授与式、県教育長表彰と併催)

### 3 青少年スポーツセンター管理運営事業

事業名	開催期日	開催場所	内容
1 岩木青少年スポーツセンター管理運営事業			
(1)施設整備事業	4月～3月	岩木青少年 スポーツセンター	施設を良好な状態に保つための維持管理に努め、利用者に快適な環境を提供する。
(2)屋外整備事業	5月～10月	岩木青少年 スポーツセンター	グラウンド等の整備を行い、各種大会会場としての快適な環境を提供する



事業名	開催期日	開催場所	内容
(3)利用促進事業			施設の持つ特性を生かした自然体験やスポーツ体験などの活動の場を提供し、青少年の健全育成を図るとともに、サービスの向上に努める。
①宿泊体験活動支援事業			
1)製作体験活動支援事業 ・けん玉作り体験 ・プラ版製作体験 ・焼板工作体験 ・こぎん刺し製作体験 ・ふるさとポストカード製作体験	4月～3月	岩木青少年 スポーツセンター	昔ながらの遊具や津軽の伝統工芸の製作工程を通し、自分で作る作品のすばらしさを感じ取るとともに、「心に残る作品」を作る機会を提供する。
2)野外炊事食育推進事業 ・カレー、バラ焼き等炊事体験	5月～10月	岩木青少年 スポーツセンター	子供たちを対象として野外炊事体験を実施し、食の大切さを学ぶ機会を提供するとともに、従来の定番メニューに「十和田バラ焼き」を加え野外炊事の充実を図る。
3)その他の体験活動 ・パークゴルフ体験 ・ノルディック・ウォーク体験 ・フィールドワーク体験	5月～10月	岩木青少年 スポーツセンター	誰もが気軽に楽しめるパークゴルフや自然観察ができるノルディック・ウォークなどの体験の場を提供し、同競技等の普及を図る。
②スポーツ等支援事業			
1)スポーツ合宿誘致	4月～3月	岩木青少年 スポーツセンター	ラグビー競技及びクロスカントリースキー競技の合宿を始め、各競技の強化合宿地としての誘致を図る。
2)県高等学校学習合宿等誘致	10月～3月	岩木青少年 スポーツセンター	県内高等学校を対象としてた学習合宿の誘致を図り、秋以降の利用者の増加に努める。
(4)センター自主事業			
①家族で体験・もっと知ろう「郷土の春」 (子どもゆめ基金助成金事業)	5月中旬	岩木青少年 スポーツセンター	子供たちに大人と一緒に春の山菜採取や野外炊事を体験することで郷土の良さを見つめなおす機会を提供し、子供たちの自立育成を図る。
②子どもわくわく自然体験 in2018 (子どもゆめ基金助成金事業)	9月下旬	岩木青少年 スポーツセンター	子供たちに自然と向き合うさまざまな野外活動を体験する場を提供し、豊かな心の育成に努め、青少年の健全育成を図る。
③タイムスリップ！縄文時代に行ってみよう！ (子どもゆめ基金助成金事業)	10月中旬	岩木青少年 スポーツセンター	子供たちに縄文時代の物作りを体験することで縄文人の生活方法や自然環境を学ぶ機会を提供し、青少年の健全育成を図るとともに、宿泊体験を通し参加者間の交流を図る。
④わくわくスノーキャンプin岩木2018 (子どもゆめ基金助成金事業)	1月中旬	岩木青少年 スポーツセンター	子供たちに仲間と楽しむ雪上活動の場を提供し、自然の厳しさや雄大さを学ぶことで協調性や社会性を養い、青少年の健全育成を図る。
⑤パークゴルフ記録会（年2回）	5月中旬 10月中旬	岩木青少年 スポーツセンター	誰もが気軽に楽しめるパークゴルフ競技の記録会を開催することで、参加者間の親睦と生涯スポーツの必要性や重要性の認識を深めるとともに、パークゴルフ競技の普及・振興を図る。
⑥岩木山ご来光・朝とり嶽きみツアー2018	9月9日～10日	岩木山	お山参詣見学とご来光祈願を合わせた登山、嶽きみ収穫体験等が出来るツアーを実施し、同センターのPRを図る。
⑦青森県立・県営等11施設合同企画 「スタンプラリー」参加事業	8月～1月上旬	岩木青少年 スポーツセンター	青森県立・県営等のスポーツ・文化施設（11施設）の来場スタンプにより応募し、抽選により賞品がもらえるスタンプラリー事業を実施し利用者増を図る。
⑧ノルディック・ウォーク普及事業	4月～3月	岩木山麓 桜並木	青森県ノルディックウォーク連盟と連携し、世界一の桜並木道のオオヤマサクラの見学や岩木山麓のスノーシュー・スノーハイク事業への協力を行い、シーズンを通して、ノルディック・ウォーク競技の普及を図る。
2 ジュニアクロスカントリースキー大会開催事業	12月26日～28日	岩木青少年 スポーツセンター	スキーシーズン最初のクロスカントリースキー大会として開催し、本県と同競技の普及・振興を図る。
	3月下旬	〃	スキーシーズンを締めくくるジュニア層から大学・一般の選手が参加できるクロスカントリースキー大会を開催し、来シーズンに向けた同競技の普及と競技力向上を図る。

#### 4 青少年スポーツセンター収益事業

事業名	開催期日	開催場所	内容
1 岩木青少年スポーツセンター収益事業	通年	岩木青少年スポーツセンター	自動販売機の設置、入浴施設の提供等を行い利便性の向上を図る。

#### 5 青森県体育協会創設100周年記念事業

事業名	開催期日	開催場所	内容
1 創設100周年記念事業	調整中	青森市	平成32年（2020年）に本会が創立100周年を迎えるにあたり、記念事業の実施に向け、同事業の内容や取り組みについて検討し、準備を進める。